第三者意見

「事業を通じて社会課題を解決し、「共有価値の創造」の実現により「世の中のしあわせ」を生み出す」という上原社長からの力強いトップメッセージからはじまる本レポートについて、さまざまな活動についての進捗を、大変興味深く読ませていただきました。さらなる取組みを期待し下記のように第三者意見を提出いたします。

1 SDGs経営と価値創造の推進

2021年度に設置したサステナビリティ・アドバイザリー・コミッティの有識者提言と対話を通して、グループとしての対応と、コミットメントについて説明され、グループ長期ビジョンに掲げる「SDGs経営と価値創造」に向けた、コミッティの実効性について高く評価いたします。
有識者の方々から出された具体的提言「脱炭素に向けて」「サステナビリティステートメント」「ESG投資」「中小企業への支援」について、その後に続く各トピックでも説明されており、コミッティから受けた提言を真摯に受け止め実践している様子がうかがえます。今後も、具体的な進捗とさらなる情報開示の拡充を期待しています。

2 人権尊重への取組み

今年は新しく「人権リスク特定」が公表され、重点確認項目では、昨年の「ハラスメント」に加え、「長時間労働」についても調査結果を開示されました。
今後、取組みを進めていくにあたり、「当社グループの事業活動において、是正を要する重大な人権課題は発生していない事を確認しました。」との報告からさらに踏み込んで、どのような人権デューデリジェンスを行ったのか、その方法と具体的な結果が開示されることや、ステップ4「人権リスク軽減策と是正措置」について、特にリスク軽減に向けた具体的アクションが進むことを期待しています。
また、人権デューデリジェンスの影響力を、取引先やお客さま、投融資先などバリューチェーン全体に及ぼすことが、世界の潮流では求められています。日本の保険業界をリードしている貴社だからこそ、その活動の影響力の範囲を拡大することで、価値向上につなげていくことを期待しています。

3 気候変動対策

TCFDに基づく気候関連財務情報の開示や将来予測をもとに実施した「物理的リスク」による保険収支への影響の「定量的分析結果」が公表され、また、投融資先のCO_2排出量を公表し「2022年度末の投融資先ポートフォリオを基準としたCO_2排出量は、198.9万トン」「2020年比33.3%の削減」と開示されたことは大きな一歩だと感じます。
機関投資家である貴社が、投融資先に、ネットゼロの実現に向けた、気候変動をテーマとした「排出量の削減目標や目標達成に向けた工程表（ロードマップ）の公表など、情報開示の充実を要請」し、投融資先との建設的なエンゲージメントを行っている結果だと推察いたします。

現在開示対象の投融資先は「太陽生命、大同生命の保有資産のうち、国内上場企業が発行する株式・債券・貸付が対象」とのことですが、国内上場企業だけでなく、ポートフォリオ全体に対象を広げ、その他の投融資先の取組みについても幅広く包含し開示されると、ステークホルダーからの理解がより深まると感じます。

2023年3月期決算から人的資本の情報開示が義務化され、人的資本経営の推進が求められています。本レポートでも新領域で活躍する「グループ従業員座談会」が取り上げられました。女性管理職比率を2030年までに30%という目標を掲げていますが、それ以外にも、人材育成、エンゲージメント、流動性、ダイバーシティ、健康・安全、労働慣行、コンプライアンス・倫理と項目は多岐にわたります。貴社としての包括的な中長期のビジョンと目標設定によって、素晴らしい人材がますます活躍されることを期待しています。

青沼愛 一般社団法人 鎌倉サステナビリティ研究所（KSI） 代表理事

SRI投資助言会社を経て、2011年より社会監査（ソーシャルオーディット）や労働環境改善業務に従事。その後、大手アパレル企業のサステナビリティ部にてサステナブルサプライチェーンを担当。2018年にKSIを設立。現在は幅広い業界の社会監査を国内外で行いながら、サステナビリティ関連コンサルティングも行う。ウォーターエイドジャパン理事も務める。